

2002 年京大文 [4]

$$\begin{aligned} \cos 3\theta &= \cos 2\theta \cos \theta - \sin 2\theta \sin \theta = \cos \theta (2 \cos^2 \theta - 1) - 2(1 - \cos^2 \theta) \cos \theta = 4 \cos^3 \theta - 3 \cos \theta \\ \cos 3\theta - \cos 2\theta + 3 \cos \theta - 1 &= 4 \cos^3 \theta - 3 \cos \theta - (2 \cos^2 \theta - 1) + 3 \cos \theta - 1 = 4 \cos^3 \theta - 2 \cos^2 \theta = a \end{aligned}$$

$f(t) = 4t^3 - 2t^2$ とし、 $-1 \leq t \leq 1$ の範囲で、 $y = f(t)$ のグラフと、 $y = a$ の共有点の個数を考える。

$f'(t) = 12t^2 - 4t = 4t(3t - 1)$ より、

$f(t)$ の増減は右の通り。

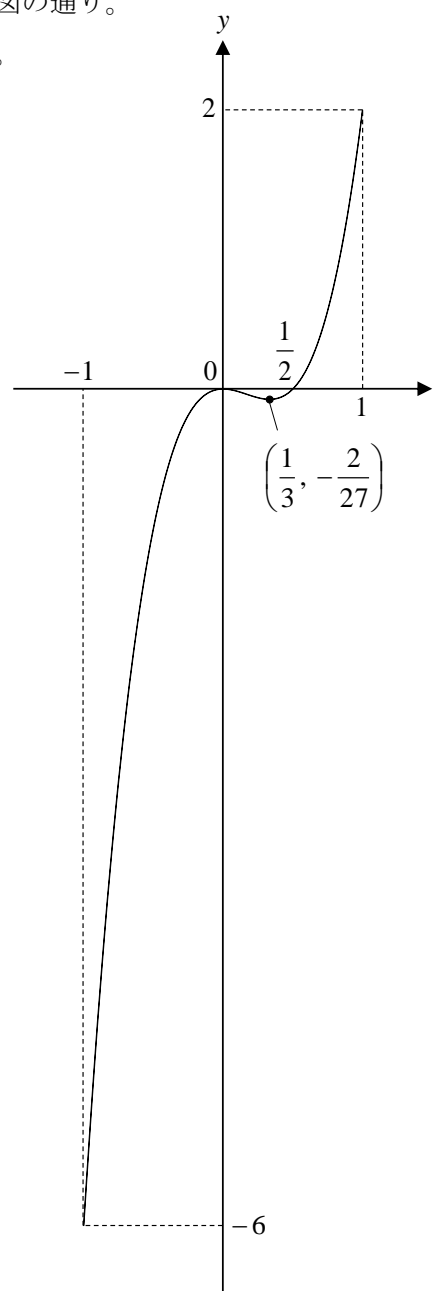
t	-1	...	0	...	$\frac{1}{3}$...	1
$f'(t)$		+	0	-	0	+	0
$f(t)$		↗		↘		↗	

極大値は $f(0) = 0$ 極小値は $f\left(\frac{1}{3}\right) = \frac{4}{27} - \frac{2}{9} = -\frac{2}{27}$

$f(-1) = -6$, $f(1) = 2$ より、 $-1 \leq t \leq 1$ における $y = f(t)$ のグラフは、右図の通り。

$t = \cos \theta$ を満たす θ の個数は、 $t = \pm 1$ のとき 1 個、 $-1 < t < 1$ のとき 2 個。

これを踏まえて、 a が変化したときの、解 θ の個数は



- $a < -6$, $2 < a$ のとき 0 個
- $a = -6$, 2 のとき 1 個
- $-6 < a < -\frac{2}{27}$, $0 < a < 2$ のとき 2 個 (答)
- $a = -\frac{2}{27}$, 0 のとき 4 個
- $-\frac{2}{27} < a < 0$ のとき 6 個